

高知発がん患者支援プロジェクト

《高知県》

安岡 佑莉子

プロジェクトの概要



がん相談センターこうち





がん患者の不安の要因

- 病気に対しての不安
- 経済的な不安
- 治療期間の長さ
- 生活の質の変化
- 仕事復帰の難しさ
そして・・・
- 死に対しての恐怖



これらの悩みを解決する為に 高知発：がん患者支援プロジェクトを発足



2009年7月19日発足

地域発：がん対策市民協働プログラム

会議では・・・



これらの目的を達成するために、がん患者とその家族、医療や行政に携わる人々、地域の方々と繋がりながら本プロジェクトを進めて行きたいとの討議を行いました。

活動として

- ◆ 「在宅ホスピスボランティア」の養成
- ◆ 「心のケア支援相談員」の養成
- ◆ 「がんナビゲータ」の養成
- ◆ 「リレーフォーライフ」への取り組み
- ◆ メディアによる情報提供
- ◆ その他

がん患者を支えていくためのプロジェクトを発足させ動きだしました。



心のケア支援相談員

心のケア支援相談員」の育成として、第1期生「スピリチュアル専門の養成講座」を開催しました。がん患者・家族の心のケアを支援する人材として、「心のケア支援相談員」の養成を続行中



**1期生 2009年10月
～2010年6月**

**2期生 2010年10月
～2011年6月**



がんナビゲーション養成講座



がんナビゲーター養成講習は2010年度10名修了者が育ちました。

ボランティア養成講座



平成22年7月17日・18日
平成22年12月25日
平成23年7月16日・17日
延べ68名の参加をいただ
いています。

成功のポイント

●活動の中で、特にポイントとなったところ

心のケアのトレーニング

⇒患者さんの心のケアの依頼を受けることにより、
医療者とのコミュニケーションが取れるようになった。

●特に苦勞したことは、壁になったこと

行政に理解してもらうまでに時間がかかる



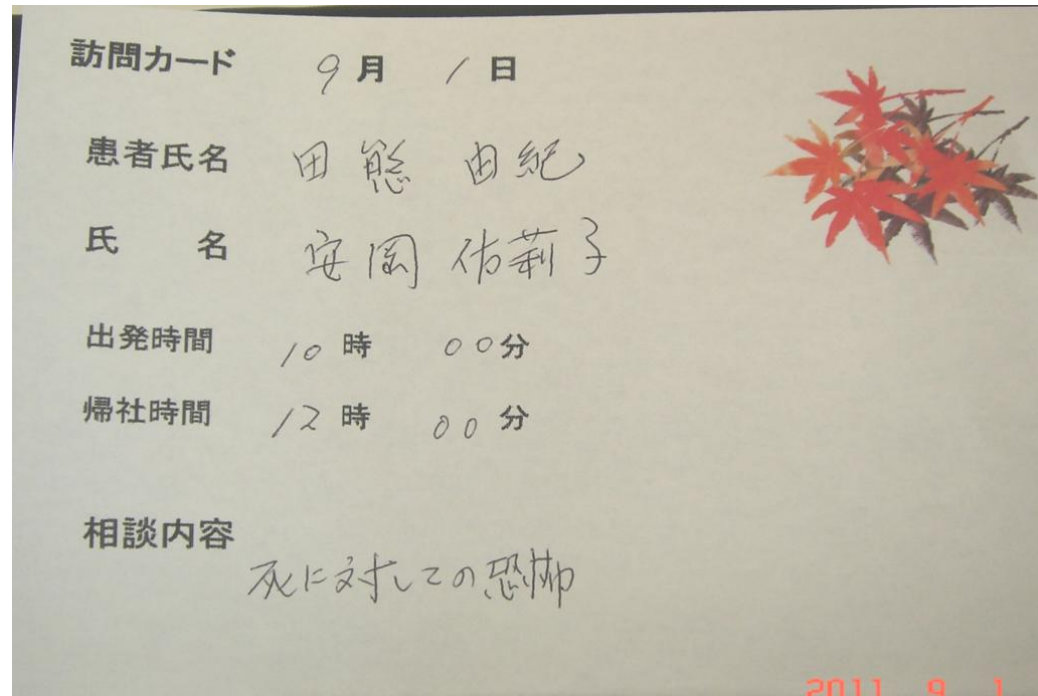
プロジェクトの成果

- ① 心のケア相談員28名がサロンや病院や自宅で患者さんの心のケアにあたっています。
- ② 在宅ボランティア研修修了者が施設で活躍しています。
- ③ がんナビゲーション終了者が患者の医療相談を受けられるようにトレーニングを受けています。
- ④ これらの事業が円滑に行えるように23年4月社団法人「高知県がん患者支援推進協議会」を立ち上げ、がん患者の支援に努めています。



訪問カード

訪問を終えるとこのカードに記入した上で
1回訪問に1000円と交通費500円が支払われます



訪問カード 9月 1日

患者氏名 田熊 由紀

氏 名 安岡 佑莉子

出発時間 10時 00分

帰社時間 12時 00分

相談内容 死に対する恐怖

2011 9 1

プロジェクトを推進するための課題

●他の関係者との連携するためには

- ・地域ごとに人材を育成
- ・行政と共に高知県全域で在宅医療に取り組む(官民一体)

●やる気を維持するためには

- ・がん患者や家族と積極的に語り合い、理解し合う
- ・県全域に広げることを目指す

●活動を続けていくためには

- ・NPOと行政との協働モデル事業

